

施設名	静岡市西奈生涯学習センター			所在地	静岡県静岡市葵区瀬名2丁目32番43号	
所管部署	静岡市生涯学習推進課			電話番号	054-265-2468	HP Twitter Facebook
	HP	https://sgc.shizuokacity.jp	SNS	@shizuoka_sgc		

○施設外観・事業風景



○施設概要

施設の沿革・年表		施設の運営で大切にしている考え方など(PRポイント等を含む)	
平成6年:着工		西奈地域は、近隣に小学校から大学まで様々な教育施設が存在しており、また、梶原山や長尾川などの自然環境に恵まれた地域である。さらに、郷倉や切石など郷土の歴史資源も豊富で、多くの団体や個人が生涯学習センターを拠点に地域の歴史文化に関する調査研究に取り組んでいる。	
平成8年:西奈公民館 完成、開館		これらの地域の特性を生かし、地域の歴史文化の魅力を発信つなげる講座を企画実施している。	
平成12年:静岡県公民館連絡協議会優良公民館表彰受賞			
平成20年:静岡市西奈生涯学習センターへ名称変更			
市町人口	684,900人	施設対象人口	32,225人
建物設置年月日	平成8年4月	開館日数 (前年度実績)	295日
運営主体	<input type="checkbox"/> 市町教育委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理者 ((公財)静岡市文化振興財団) <input type="checkbox"/> 市町首長部局 <input type="checkbox"/> その他 ()		
職員数	<input checked="" type="checkbox"/> 専任 4人 <input checked="" type="checkbox"/> 非常勤 4人 <input type="checkbox"/> 兼任 0人 <input type="checkbox"/> ボランティア協力者 0人	合計	8人
講座等開催数 (前年度実績)	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 126回 <input type="checkbox"/> その他 0回 <input type="checkbox"/> 講演会・展示会等 0回	合計	126回
来館者数 (前年度実績)	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 2,233人 <input type="checkbox"/> 貸館・サークル活動 29,221人 <input type="checkbox"/> 講演会・展示会等 0人 <input type="checkbox"/> その他 0人	合計	31,454人

○事業等の実施状況(『特色ある活動』であげた事業以外で2つ)

※令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響あり

区分	事業名	開催回数	延参加者数	区分	事業名	開催回数	延参加者数	写真
<input checked="" type="checkbox"/> 主催 <input type="checkbox"/> 共催 事業概要(共催先も記載)	にしな歴史マップ作り	4回	48人	<input type="checkbox"/> 主催 <input checked="" type="checkbox"/> 共催 事業概要(共催先も記載)	常葉大学人材養成講座	8回	143人	
センター周辺地域の歴史紹介地図を作成。地域の歴史や文化を調査し、調査から得た知識の伝承者の育成を目的として実施した。紹介箇所の選定から、キャプションや散策コース設定などを受講者主導で実施した。	生涯学習活動に貢献する人材の育成を目的に、常葉大学と共に短大日本語日本文学科の学生が企画した講座の実施支援を行い、講座の企画、運営を学び、生涯学習活動に携わる機会を提供した。							

施設名**静岡市西奈生涯学習センター****○特色ある事業****I. 事業名****にしな歴史人プロジェクト****2. 取組を進めた要因・背景、地域課題、住民ニーズなど**

西奈地域の課題として、豊富な地域の歴史・文化に恵まれるも、その保護・活用の担い手が高年齢化等により減少し、継承が難しくなっている現状がある。近隣の小中学校の地域学習への協力依頼にも、地域の歴史を伝えられる人材は限られており、地域の歴史・文化を伝承し、次世代へと継承する活動の中核となる人材の育成・確保が強く求められていた。

**3. 取組内容（力を入れている活動、特徴的な活動、地域課題解決の活動、運営の工夫など）**

令和元年度から5年計画で、西奈地域の歴史文化の伝承者育成を目的に、市指定文化財「郷倉及び附属番屋」を管理する『郷倉・番屋』保存会と協働し、郷倉とその歴史文化を伝える講座を行い、「瀬名郷倉及び附属番屋」の紹介冊子を作成。小学生への紹介にも使用できるよう、見やすい構成や平易な説明文をこころがけた。ユニバーサルフォントの使用、新たに撮影した資料写真も多用し、分かりやすい紙面を作成した。完成した冊子は、『郷倉・番屋』保存会の郷倉の案内、説明に使用され、近隣小中学校にも配布した。

**4. 参加対象、参加者数(前年度実績)**

参加対象	瀬名郷倉保存会会員	参加者数	6人
------	-----------	------	----

5. 取組による成果や効果

郷倉紹介冊子を配布することで、見学者の深い理解に繋がっている。また、郷土の文化財の紹介とともに、その保存・管理に取り組む郷倉保存会の活動も周知でき、郷倉保存会の発案で、定期的に郷倉を開放して見学できる環境を作るなど、同会の活発な活動の促進も、本取り組みによる効果ととらえている。

7. 今後の目標・展開、次の仕掛け・ビジョン

令和元年度以降、郷倉保存会と協同して実施してきた。同会員を講師とした講座、郷倉紹介冊子の作成、郷倉内の見学環境の整備、などを通じ、郷倉の文化財としての周知を進めてきた。しかし、郷倉保存会会員自身も高齢化等が進んでおり、地域の歴史・文化の担い手が減少するという現状には大きく変化はないため、引き続き、地域課題を解決するための人材養成が実施できるような事業の計画を行っていく。

6. 取組の検証・改善を行う仕組み・方法

郷倉保存会へ郷倉案内などの問い合わせの数を確認している。近隣の小中学校から、郷倉の見学や案内への問い合わせが増えており、地域の歴史について学ぶ機会を探しているとの声が寄せられているが、今後も、郷倉保存会、近隣教育機関を中心に情報収集し、ニーズを把握できるよう務めていく。